

Annual Report

令和 6 年度

館報

第 31 号



2025

静岡市立登呂博物館

目次

1	基本理念・沿革	
1-1	基本理念	3
1-2	沿革	3
2	概要	
2-1	登呂博物館	5
2-2	登呂遺跡	5
3	管理運営	
3-1	利用状況	6
3-2	利用者数詳細	6
3-3	入館者数推移	7
3-4	観覧者数推移（リニューアル後）	7
3-5	登呂遺跡（復元遺構）の活用	8
3-6	体験学習	8
3-7	組織	9
3-8	予算・決算	9
4	展示	
4-1	春季企画展「古代の稻作と実験考古学」	12
4-2	夏季企画展「しづおかタイムトラベル」	15
4-3	秋季企画展「登呂遺跡を未来へつなぐ」	17
4-4	特別展「西の登呂、静岡に初上陸」	19
4-5	特別展・企画展開催実績（リニューアル後）	21
4-6	通常展示	23
4-7	資料貸出	23
5	保存	
5-1	修理事業	24
5-2	寄贈	24
6	活用（各種イベント含む）	
6-1	主催事業	25
6-2	共催・連携事業	29
6-3	その他事業	31
7	教育普及	
7-1	学校見学	33
7-2	講師派遣・出張講座	33
7-3	博物館実習・職場体験等	34
7-4	こども学芸員養成講座	35
7-5	視察等受入	35
8	広報	
8-1	広報印刷物	36
8-2	ウェブサイト・SNS	37
8-3	報道・広告等	38
8-4	トロベー	40
9	博物館協議会	41
10	ボランティア活動	43
11	利用案内	45

1 基本理念・沿革

1-1 基本理念

登呂博物館は、登呂遺跡と一体化した博物館として昭和47年に開館し、平成22年10月にリニューアルオープンしました。リニューアルに際し策定された「建替基本構想」（平成18年3月）では次のとおり基本理念が定められました。

基本理念

過去から未来に向かう歴史探訪へのいざない

基本方針

登呂遺跡は、特別史跡として貴重な国家的文化遺産であり、静岡市を代表する文化的シンボルであります。新たな博物館は、この登呂遺跡と一体化した遺跡博物館になることを目指し、登呂遺跡の保存と後世への継承、有意義で幅広い活用に努めます。

また、登呂遺跡の発掘調査によって明らかにされた稻作農耕文化とその発掘調査がもたらした意義を博物館活動の中心テーマに据え、博物館の内外でさまざまな活動を展開します。

そして、登呂遺跡が伝える歴史や文化あるいは地域について、豊かな実感を持って学ぶことができる場となり、人々の活気にあふれる集いと温もりのある交流を生み出していく役割を果たします。

役割と使命

- 1 登呂遺跡と一体化した遺跡博物館
- 2 稲作農耕文化に関する調査・研究の拠点
- 3 登呂遺跡の発掘調査がもたらした意義の継承
- 4 情報の収集と発信、ネットワーク化の推進
- 5 楽しく・豊かに・実感できる学びの創出
- 6 学校教育との連携・生涯学習への支援
- 7 「登呂学」の創造を通じた集いと交流の促進



また、博物館リニューアルに先立ち、登呂遺跡については、平成7年3月に有識者委員会によって「特別史跡登呂遺跡保存整備基本計画」が策定され、平成11年度から15年度にかけて再発掘調査が行われました。

そして、再発掘調査の結果を基にして「特別史跡登呂遺跡再整備基本設計」が平成17年3月に策定され、平成18年度から平成23年度にかけて再整備事業が行われました。

「基本設計」では再整備の目的・方針について、次のように定められています。

整備の目的

登呂遺跡は、今までつづく日本の農耕文化の初期段階（弥生時代）の実態をしめし、弥生時代の社会の様子を学ぶことのできる貴重な遺跡である。こうした登呂遺跡の特徴を良好に保存しつつ、正しく理解し、継続的な遺跡空間の活用を図る。また、地域住民に親しまれ、活かされることで、地域の誇りとして長く受け継がれていく遺跡となるようにする。

1. 登呂遺跡を正しく理解するために、遺構の精密な検討をもとに復元的に整備を行う。

2. 史跡整備の先駆として、常に新たな体験と情報が発信できる機能を有した整備とする。
3. 地域の人々が遺跡の活用と運営に積極的に関わることができる機能と運営体制を整える。地域の人々の生活の一部としての機能を保持する。
4. 整備により整えられた機能を活かし、継続的に保存・活用して行くための運営体制の充実を図る。

整備方針

学術的な成果に基いて復原整備を行うと共に、より多く人々が関わりを持てる遺跡となるようにするため、活用を中心として運営が行えるように整備を行う。また、現在の登呂遺跡は都市公園としても位置付けられ、災害時の広域避難地にも利用されることから、都市公園としての機能も含んだ整備とする。

1. 盛土等により、遺構の保存を図った上で活用を行う。
2. 住居域と水田域を一体として感じられる空間として整備を行う。
3. 体験を重視した遺跡運営を継続的に行うことのできる整備とする。
4. 遺跡のエントランス機能と体験・情報発信の中心として博物館を充実させるとともに、遺跡公園と博物館の一体化を図り整備を行う。
5. 遺跡公園としての復元的空間表現を重視した整備とともに、従来の都市公園的機能を取り入れる。(都市公園としての機能は遺跡外周部に集約する。)

1 - 2 沿革

昭和 18 年 (1943)	1 月	軍需工場建設の際、遺跡が発見される
	7 月 11 日	「登呂遺跡発見」の新聞報道 (毎日新聞静岡版)
	8~9 月	静岡県による第一次発掘調査
昭和 20 年 (1945)	6 月 20 日	静岡大空襲。調査記録・大型木製資料などが焼失
昭和 22 年 (1947)	7 月	「登呂遺跡」を正式名称に決定
	7~9 月	静岡市登呂遺跡調査会による第二次発掘調査開始 (7 月 13 日鍬入式)
	11 月	東京国立博物館にて『登呂遺跡出土品特別展』開催 (昭和 23 年にも)
昭和 23 年 (1948)	4 月	日本考古学協会発足。静岡市登呂遺跡調査会解散
昭和 23 年~25 年 (1948~50)		日本考古学協会による第三次~第五次発掘調査
昭和 24 年 (1949)	11 月	調査報告書『登呂』(日本考古学協会編、毎日新聞社発行) 刊行
昭和 25 年 (1950)	4 月	奈良国立博物館にて 『古代農耕文化展 -登呂遺跡・瓜郷遺跡・唐古遺跡から見た-』開催
昭和 26 年 (1951)	1 月	登呂遺跡休憩所 (案内所・名物協会売店併設) 竣工
	3 月	1 号復元住居を建設
昭和 27 年 (1952)	4 月	1 号高床倉庫を建設
	3 月 29 日	国史跡に指定 (11,600 m ²)
	11 月 22 日	国特別史跡に指定 (11,600 m ²)
昭和 29 年 (1954)	9 月	調査報告書『登呂-本編-』(日本考古学協会編、毎日新聞社発行) 刊行
昭和 30 年 (1955)	4 月	静岡考古館 開館 (各研究機関からの出土品の返還を受けて)
昭和 34 年~42 年 (1959~67)		遺跡隣接地を購入し、都市公園として整備
昭和 35 年 (1960)		地元住民が「登呂会」を結成。第一回「登呂まつり」開催
昭和 40 年 (1965)	7~8 月	東名高速道路建設に伴う静岡県文化財保存協会による第六次発掘調査
昭和 41 年 (1966)		遺跡隣接地・水田部分 (48,300 m ²) が史跡に仮指定される

昭和 43 年～47 年 (1968～72)		住居跡・森林跡・水田跡の一部・東名高架下を整備
昭和 46 年 (1971)	10 月	静岡考古館 閉館
昭和 47 年 (1972)	4 月 1 日	静岡市立登呂博物館 開館
昭和 47 年～53 年 (1972～78)		水田跡を復元整備
昭和 49 年 (1974)	2 月 20 日	天皇・皇后両陛下ご来館
昭和 53 年 (1978)	12 月 21 日	仮指定地が特別史跡に追加指定 (48,300 m ²)
昭和 56 年 (1981)	6 月	公園内に「静岡市立芹沢銈介美術館」開館
昭和 59 年 (1984)		登呂遺跡発見 40 周年記念事業の開催 (シンポジウムほか)
昭和 63 年 (1988)	10 月	日本考古学協会設立 40 周年記念静岡大会 「日本における稻作農耕の起源と展開」開催
平成 4 年 (1992)	10 月	静岡県浙江省友好提携 10 周年記念シンポジウム 「イネのルーツ・シンポジウム～登呂のルーツは浙江省にあり」開催
	11 月	博物館開館 20 周年式典開催
平成 5 年 (1993)		登呂遺跡発見 50 周年記念事業の開催 (シンポジウムほか) 「市民水田」事業の開始
平成 6 年 (1994)	3 月	博物館 1 階リニューアル。1 階を参加体験ミュージアムとした
平成 7 年 (1995)		「博物館ボランティア」の導入
平成 11 年～15 年 (1999～2003)		登呂遺跡再発掘調査 (第 19 次～23 次調査)
平成 15 年 (2003)	11 月	登呂遺跡発見 60 周年記念シンポジウム 「弥生時代の登呂ムラと各地のムラ」開催
平成 16 年 (2004)	2 月 27 日	登呂遺跡出土品 699 点が静岡県指定文化財に指定
平成 18 年～23 年 (2006～2011)		登呂遺跡再整備
平成 19 年 (2007)	6 月 30 日	登呂博物館 閉館
平成 20 年 (2008)	9 月 13 日	第四回日本考古学協会公開講座～考古学から見えてきたふるさとの歴史～ 「はじまりは登呂遺跡 - 弥生農村の実像を求めて - 」開催
平成 21 年 (2009)		登呂遺跡・登呂博物館イメージキャラクター「トロベー」誕生
平成 22 年 (2010)	10 月 3 日	登呂博物館リニューアルオープン
平成 23 年 (2011)	9～10 月	リニューアル一周年記念特別展 「発掘された日本列島 2011」を開催 (全国巡回展の一会場として)
平成 28 年 (2016)	8 月 17 日	登呂遺跡出土品 775 点が重要文化財に指定
	11 月 19 日	重要文化財指定記念シンポジウム 「遺跡からみる 弥生集落のかたち」開催
平成 30 年 (2018)		重要文化財指定資料の修理事業開始
	4 月 24 日	音声ガイドの利用開始
	11 月 3 日	日本考古学協会設立 70 周年記念事業の一つとして 公開講演会「子どもたちと語る考古学と未来」開催
平成 31 年 (2019)	10 月 1 日	登呂博物館公式 Twitter 「トロベーのひとりごと」運用開始
令和 2 年 (2020)	1 月	登呂博物館新公式ホームページ公開
	4～5 月	新型コロナウイルス感染拡大防止により休館
令和 6 年 (2024)	3 月	登呂遺跡発見 80 周年記念事業 国際シンポジウム ①「日韓における史跡の整備と活用の今後」 ②「農耕空間の多様性と弥生農耕の形成」開催

2 概要

2-1 登呂博物館

(1) 開館日 昭和 47 年 4 月 1 日
リニューアルオープン 平成 22 年 10 月 3 日

(2) 建物

ア 構造 鉄骨鉄筋コンクリート造 2 階
イ 面積 建築面積 1,259.64 m²
延床面積 2,296.52 m²

部門	諸室	面積(m ²)
保管	一般収蔵庫	96.65
	特別収蔵庫	25.41
	前室	19.29
展示	体験展示室	286.26
	常設展示室	211.82
	特別・企画展示室	96.90
	展示準備室	10.98
調査研究	調査研究室、写場	53.51
教育普及 交流	交流ホール（収納庫除く）	160.18
	図書コーナー、書庫など	180.55
搬入搬出	トラックヤード、荷解場	97.39
管理運営	ミュージアムショップ	26.64
	事務室	69.79

(3) 建設業者

建築設計 株式会社川口建築都市設計事務所
(現 合同会社デザイン・アープ)
展示設計 株式会社丹青社
建築工事 木内建設株式会社
電気工事 近和電業株式会社
衛生工事 大和工機株式会社
空調工事 内川工業株式会社
昇降機工事 株式会社日立製作所
展示工事 株式会社丹青社
展示情報工事 NEC ネッツエスアイ株式会社

2-2 登呂遺跡

(1) 遺跡の性格
特別史跡、都市公園（登呂公園）、一時避難地

(2) 面積

総面積 約 66,000 m²※
(うち特別史跡指定面積 59,900 m²)

※特別史跡に博物館・美術館・銅介の家を加えた面積

(3) 復元建物

ア 棟数 住居 5 棟※^{1,2}
高床倉庫 3 棟※¹
祭殿 1 棟

※1 各 1 棟は昭和年間に設計のもの

※2 1 棟は鉄骨造 GRC パネル貼り構造

イ 設計
昭和 - 関野克 平成 - 宮本長二郎（指導）

(4) 復元水田 面積 約 21,000 m²

(5) 再整備設計 株式会社文化財保存計画協会

(6) 管理状況

ア 遺跡、博物館等
静岡市観光交流文化局文化財課
イ 芹沢銅介美術館
静岡市観光交流文化局文化振興課
ウ 登呂公園（学びの広場、園路など）
静岡市都市局都市計画部緑地政策課、
公園管理課
エ 駐車場運営
公益財団法人するが企画観光局
営業時間 8:30 - 17:00
料 金 普通車 400 円、バス 1,500 円
オ ミュージアムショップ運営
ショップ・イイジマ

3 管理運営

3-1 利用状況

令和6年度博物館利用状況 ()内は前年度の値

開館日数 303日 (304日)

入館者数 167,362人 (165,820人)

観覧者数 36,724人 (37,889人)

団体見学 273団体* (316団体) ※減免処理した学校団体と一般団体の合計

3-2 利用者数詳細 (単位:人)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
一般	個人	1,108	1,408	1,115	1,049	1,734	939	1,171	964	746	819	1,187	1,481	13,721
	団体	8	0	90	0	0	31	70	188	32	56	45	60	580
	回数券	15	25	22	20	10	5	10	22	5	17	21	16	188
	助成券	4	14	19	23	14	9	11	6	7	8	23	13	151
	共通個人	355	468	258	369	449	350	374	475	144	389	432	279	4,342
	共通団体	0	0	0	0	0	0	8	0	0	0	0	0	8
	小計	1,490	1,915	1,504	1,461	2,207	1,334	1,644	1,655	934	1,289	1,708	1,849	18,990
有料観覧者数	個人	86	118	73	63	216	92	46	54	85	213	107	171	1,324
	団体	41	0	0	0	0	4	0	0	0	2	0	0	47
	回数券	0	5	0	0	0	5	0	0	0	0	10	20	40
	助成券	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	共通個人	20	39	4	30	34	15	15	13	3	15	27	28	243
	共通団体	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	147	162	77	93	250	116	61	67	88	230	144	219	1,654
小・中学生	個人	246	345	162	310	801	191	183	130	100	136	163	310	3,077
	団体	0	0	0	0	0	6	23	0	0	10	0	16	55
	回数券	0	0	0	0	5	5	0	0	10	0	0	1	21
	助成券	0	6	4	11	6	2	1	0	2	5	3	1	41
	共通個人	36	38	5	36	79	20	16	12	4	24	24	6	300
	共通団体	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	282	389	171	357	891	224	223	142	116	175	190	334	3,494
合計		1,919	2,466	1,752	1,911	3,348	1,674	1,928	1,864	1,138	1,694	2,042	2,402	24,138
一般	学校行事	17	105	232	70	2	38	31	59	34	4	3	0	595
	身障者	110	94	67	84	130	105	169	111	48	64	71	171	1,224
	老年者	31	23	19	17	37	18	56	32	17	21	39	29	339
	施設	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	0	5
	観察等	0	0	0	0	0	0	10	2	13	0	0	6	31
	その他	4	7	4	4	3	2	7	2	3	0	6	1	43
	小計	162	229	322	175	172	163	273	206	115	89	124	207	2,237
無料観覧者数	学校行事	25	0	55	37	0	38	0	9	12	0	0	0	176
	身障者	0	2	3	0	1	1	0	0	0	0	0	0	7
	研究	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0	25	0	0	0	0	0	25
	小計	25	2	58	37	1	39	25	9	12	0	0	0	208
	学校行事	269	1,750	3,567	1,225	0	612	258	591	568	48	37	0	8,925
	身障者	10	6	13	9	25	14	20	11	4	6	11	7	136
小・中学生	市内	40	71	33	31	74	26	130	11	19	9	45	22	511
	幼児	48	56	46	36	83	32	63	28	13	52	44	59	560
	施設	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9	9
	小計	367	1,883	3,659	1,301	182	684	471	641	604	115	137	97	10,141
	合計	554	2,114	4,039	1,513	355	886	769	856	731	204	261	304	12,586
	観覧者	2,473	4,580	5,791	3,424	3,703	2,560	2,697	2,720	1,869	1,898	2,303	2,706	36,724
	総入館者	11,552	17,348	18,512	12,182	17,383	11,908	28,148	11,826	7,650	8,341	10,438	12,074	167,362

3-3 入館者数推移（単位：人）

月 年度	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
22	-	-	-	-	-	-	27,255	18,323	10,780	14,372	16,636	14,948	102,314
23	25,094	29,751	20,176	15,028	26,905	12,557	18,758	14,290	8,486	10,523	13,019	13,026	207,613
24	24,132	27,420	14,333	13,025	23,665	13,366	15,592	13,267	7,260	10,126	13,426	14,254	189,866
25	19,688	26,403	14,434	11,286	22,603	11,489	18,326	14,561	7,424	10,418	10,285	16,210	183,127
26	22,361	28,563	13,940	11,398	25,578	12,311	18,483	13,945	4,973	8,887	10,614	12,976	184,029
27	23,132	27,869	12,493	11,638	21,821	16,666	17,429	12,150	6,821	9,691	10,397	16,329	186,436
28	24,112	29,217	12,727	12,787	21,039	10,708	16,663	13,591	7,601	9,545	10,795	16,106	184,891
29	19,882	23,605	14,930	11,352	23,020	10,145	15,195	11,274	6,562	9,129	10,139	12,358	167,591
30	20,688	24,713	13,215	10,411	21,188	12,139	16,417	11,125	7,599	8,611	9,582	12,108	167,796
31(1)	20,657	27,282	15,230	12,358	21,300	12,191	11,914	12,828	6,691	8,494	11,241	9,382	169,568
2	2,510	0	7,346	8,547	10,893	10,630	15,254	15,887	6,928	4,434	6,691	8,048	97,168
3	7,490	15,593	14,226	10,118	8,404	5,351	11,088	16,343	8,300	5,955	5,507	9,757	118,132
4	10,303	18,380	17,329	13,594	15,429	10,666	28,270	10,708	7,674	8,039	8,888	11,901	161,181
5	10,155	16,790	17,086	12,929	18,836	10,699	28,932	10,794	7,085	8,728	10,859	12,927	165,820
6	11,552	17,348	18,512	12,182	17,383	11,908	28,148	11,826	7,650	8,341	10,438	12,074	167,362
リニューアル後 (H22～R6)													2,452,894
旧博物館 (S47～H19)													6,954,504
合計													9,407,398

3-4 観覧者数推移（リニューアル後）（単位：人）

月 年度	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
22	-	-	-	-	-	-	9,306	6,407	3,000	4,163	5,161	4,216	32,253
23	9,128	10,711	6,290	4,514	7,763	4,169	7,023	5,101	2,178	3,105	3,066	3,360	66,408
24	8,049	9,541	4,368	3,442	8,222	3,873	3,841	3,782	1,942	2,484	3,240	3,362	56,146
25	6,705	9,172	3,746	2,772	6,268	2,699	3,780	3,359	1,515	2,169	1,736	3,112	47,033
26	7,116	9,031	3,640	2,284	6,096	2,686	3,367	2,802	815	1,873	2,036	2,210	43,956
27	7,287	7,045	3,283	2,725	4,863	3,506	2,875	2,418	929	1,713	2,144	3,708	42,496
28	7,656	7,957	3,795	3,263	4,894	2,603	3,288	2,613	1,555	2,307	2,552	3,329	45,812
29	6,600	6,136	4,125	3,035	5,734	1,881	3,104	2,347	1,003	2,462	2,676	2,688	41,791
30	6,385	6,557	3,399	2,121	4,725	2,285	3,064	1,770	1,246	1,796	1,817	2,260	37,425
31(1)	6,144	7,881	3,872	2,650	4,699	2,365	2,065	2,639	1,191	1,755	2,483	1,513	39,257
2	188	0	1,929	2,386	4,113	3,505	5,194	4,360	2,106	1,097	2,072	2,377	29,327
3	2,534	4,602	5,077	3,449	2,626	1,374	3,800	5,274	2,943	1,728	1,700	3,193	38,300
4	3,108	5,819	5,514	4,347	4,253	2,962	3,646	2,230	1,948	1,984	2,228	3,123	41,162
5	2,620	4,660	5,768	3,308	4,546	2,567	3,175	2,584	1,560	2,076	2,293	2,732	37,889
6	2,473	4,580	5,791	3,424	3,703	2,560	2,697	2,720	1,869	1,898	2,303	2,706	36,724
合計													635,979

3-5 登呂遺跡（復元遺構）の活用

登呂遺跡は、平成18年度から平成23年度にかけて再整備事業が行われ、遺構の保護と再整備により整えられた空間や機能を活かし、継続的に登呂遺跡を活用している。

（1）復元住居区域の活用

遺跡内の住居復元区域では、屋外体験を指導するとともに弥生時代の登呂ムラの住人として動的展示物となる「ムラ人」（屋外体験指導員）が火起こし体験や土器炊飯などを行い、弥生時代の生活文化を学習できる機会を提供している。また、区域内の復元建物（住居、高床倉庫、祭殿）は登呂遺跡での弥生集落の景観を示すだけではなく、「祭殿見学会」など博物館の教育普及活動の場にも活用している。

（2）復元水田の活用

遺跡内にある復元水田を弥生時代の景観を復元・維持するとともに市民団体や学校団体、個人に水田での稻作を体験する機会を提供している。また、水田での生物観察や研究者との共同研究、博物館の教育普及活動にも活用している。

3-6 体験学習

（1）屋外体験

- ・登呂の“ムラ人”として遺跡案内を実施
- ・体験学習（火おこし、土器炊飯）の実施と解説
火おこし：実際に着火するまでの実演
土器炊飯：台付甕形土器のレプリカを使用して
登呂遺跡で栽培していた可能性がある赤米を炊飯・試食に供している
- ・「屋外体験指導員」（会計年度任用職員：常置配置数1～4人）が対応

月	来場案内者	火起こし
4	10,000	1,890
5	14,615	3,637
6	16,525	4,763
7	10,450	2,141
8	14,525	1,451

9	10,060	1,690
10	23,260	1,471
11	10,140	1,820
12	6,730	1,254
1	6,940	1,009
2	8,640	1,160
3	10,100	1,351
合計	141,985	23,637

（2）弥生体験展示室

- ・体験学習の実演（臼と杵による脱穀・穂摘み・田下駄）及び解説、パンフレットの配布
- ・貫頭衣着用・丸木舟・土器パズル等体験実施
- ・「体験指導員」（会計年度任用職員：常置配置数2～3人）及びボランティアスタッフが対応

（3）図書コーナー

- ・登呂遺跡に関する資料、全国の博物館の展示図録や発掘調査報告書・歴史専門書・子ども向けの歴史関連図書を配架
- ・特別展・企画展の関連資料等を陳列
- ・利用者 令和6年度：5,819人
- ・音声ガイドの貸出 利用者：283人
- ・会計年度任用職員（常置職員数1～2名）が対応
※資料・図書等の貸出は行っていない

（4）情報・映像コーナー

情報・映像コーナーでは、モニターでの映像案内・ポスター・チラシ等の配架による情報提供・スペースを活用したミニ展示を行っている。

- ・登呂博物館が所蔵する遺物・図書の検索
- ・市内の観光案内などの情報の提供
- ・全国の博物館や公共施設等の催事情報を提供
- ・博物館実習生による展示（8月～9月）
- ・静岡市文化財課による展示（9月、1月）
- ・「トロベーの博物館案内」（映像案内）を常時上映

3-7 組織

静岡市観光交流文化局

文化財課

- 文化財保護係
- 埋蔵文化財係 — 埋蔵文化財センター
- 三保松原文化創造センター
- 登呂博物館

《登呂博物館職員数》

職員数 19 人・・・登呂博物館長 1 人、主査 1 人、主任主事 4 人、会計年度任用職員 12 人

《その他》

博物館ボランティア・・・45 人（令和 6 年 4 月 1 日時点）

3-8 予算・決算

（1）令和 6 年度歳入 ※予算額は年度当初の予算額（歳出も同様）

収入科目	予算額	決算額	備考
博物館使用料	5,822,000	5,874,580	博物館観覧料
文化財保護費補助金 (国庫補助金)	1,565,000	1,565,000	国宝重要文化財等保存・活用事業費補助金 (出土品保存修理事業)
使用料	10,000	10,500	博物館施設使用料（行政財産：電柱等）
土地貸付収入	3,098,000	2,764,688	一般土地貸付料（普通財産：駐車場土地ほか）
各種発行物売扱収入	420,000	451,270	図録売扱収入
教室等会費収入	430,000	143,300	講座・講演会参加料
雑収	348,000	142,958	社会教育費雑入（ミュージアムショップ光熱費）
合計	11,693,000	10,952,296	

（2）令和 6 年度歳出

ア 公園管理費

支出科目	予算額	決算額	備考
需用費	603,000	567,788	
光熱水費	(593,000)	(567,788)	電気代・水道
(維)修繕料	(10,000)	0	登呂遺跡北側ガイダンストイレ修繕費
委託料	1,007,000	820,196	北側ガイダンス施設トイレ清掃委託ほか
合計	1,610,000	1,387,984	(ア)

イ 文化財保護費

支出科目	予算額	決算額	備考
<文化財保護管理費>			
需用費	846,000	721,241	
消耗品費	(106,000)	(105,585)	水田管理用品ほか
燃料費	(25,000)	(15,796)	耕運機燃料ほか
光熱水費	(565,000)	(544,860)	電気・ガス・水道代
(維)修繕料	(150,000)	(55,000)	遺跡修繕費
役務費	54,000	38,714	電話代ほか
委託料	4,981,000	4,920,577	遺跡清掃、植栽管理業務委託
委託料（政策）	2,024,000	1,705,000	燻蒸業務
<文化財整備活用事業費>			
旅費	79,000	74,520	出土品修理の指導監督に係る旅費
消耗品費	5,000	4,275	パネルほか
委託料	3,068,000	3,067,898	重要文化財登呂遺跡出土品保存処理
合計	11,057,000	10,532,225	(イ)

ウ 給与費

支出科目	予算額	決算額	備考
報酬	184,000	138,000	博物館協議会委員報酬
合計	184,000	138,000	(ウ)

エ 博物館管理運営費

支出科目	予算額	決算額	備考
報償費	336,000	243,000	企画展関連講座、教育普及事業講師謝金ほか
旅費	403,000	382,892	展示準備関係旅費ほか
需用費	17,135,000	15,903,869	
消耗品費	(1,246,000)	(894,176)	一般事務及び管理用品ほか
燃料費	(2,000)	0	
食糧費	(5,000)	0	
印刷製本費	(1,798,000)	(1,753,383)	企画展ポスター・チラシほか
光熱水費	(8,428,000)	(8,232,724)	電気・水道代
光熱水費（政策）	(1,500,000)	(1,500,000)	
(物)修繕料	(185,000)	(110,286)	物品等修繕料
(維)修繕料	(3,971,000)	(3,413,300)	博物館施設修繕工事費
役務費	2,050,000	1,568,953	電話代・クリーニング代ほか
委託料	24,425,000	24,093,299	施設管理のための業務委託ほか
委託料（政策）	370,000	369,600	券売機保守管理業務委託
使用料及び賃借料	6,505,000	6,335,479	複写機使用料、システム使用料ほか

備品購入費	150,000	0	
負担金、補助及び交付金	94,000	66,000	日本博物館協会負担金ほか
合計	51,468,000	48,963,092	(エ)

才　観光総務費

支出科目	予算額	決算額	備考
負担金、補助及び交付金	1,388,000	1,388,000	登呂まつり補助金
合計	1,388,000	1,388,000	(才)

カ　歳出総計

	予算額	決算額	備考
総計	65,707,000	62,409,301	(ア) + (イ) + (ウ) + (エ) + (才)

4 展示

4-1 春季企画展「古代の稻作と実験考古学」

会期：令和6年2月23日（金祝）～ 5月12日（日）

«72日間»

概要：登呂遺跡の復元水田を活かした実験考古学の取組を紹介し、古代の稻作の実像に迫る。

観覧者：7,957人

一般	5,267人
高校生・大学生	513人
小学生・中学生	2,177人

点数：80点

資料協力：岐阜県文化財保護センター
静岡県埋蔵文化財センター
静岡大学人文社会学部考古学研究室

印刷物：(1) ポスター (B2、A3)

B2: 330枚、A3: 1,580枚

(2) 企画展チラシ (A4)

15,100枚

(3) シンポジウムチラシ (A4)

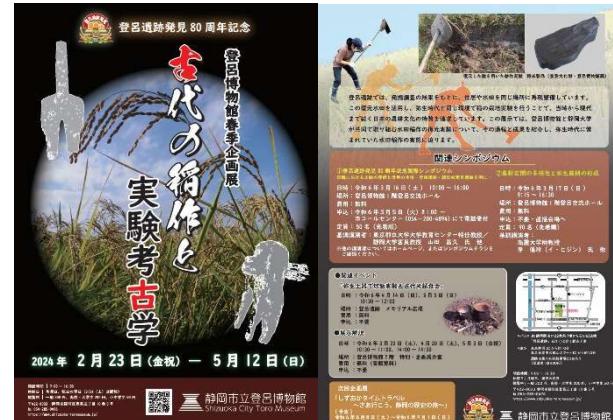
3,500枚

(4) シンポジウムリーフレット

(A4、28ページ)

300部

担当者：渡邊 智大



関連事業

登呂遺跡発見 80 周年記念事業として、2 つの国際シンポジウムを登呂博物館と登呂農耕文化研究所が協力して開催した。

(1) 国際シンポジウム①「日韓における史跡の整備と活用の今後」

概要：史跡の調査研究と活用方法について、日本と韓国の

古代農耕文化をひも解く取組を行う登呂遺跡・韓国扶余郡松菊里遺跡の双方の視点で深めた。

日時：令和 6 年 3 月 16 日（土）10：00～16：00

会場：登呂博物館 1 階 登呂交流ホール

主催：静岡市立登呂博物館

後援：静岡大学（人文社会科学部、人文社会科学部アジア研究センター、サステナビリティセンター、登呂農耕文化研究所）

基調講演者：東京都立大学大学教育センター特任教授／静岡大学客員教授 山田 昌久 氏

報告書：韓国伝統文化大学教授 李 基星（イ・ギソン） 氏

韓国扶余郡文化財課 朴 炳旭（パク・ビョンウク） 氏

静岡大学人文社会科学部教授 篠原 和大 氏

静岡市観光交流文化局次長 岡村 渉 氏

人数：80 人



(2) 国際シンポジウム②「農耕空間の多様性と弥生農耕の形成」

概要：古代の農耕文化に関する最新の研究成果を日韓双方の視点で報告しディスカッションした。

日時：3 月 17 日（日）9：15～16：30

会場：登呂博物館 1 階登呂交流ホール

主催：静岡大学登呂農耕文化研究所

共催：静岡市立登呂博物館

後援：静岡大学

（人文社会科学部、人文社会科学部アジア研究センター、サステナビリティセンター）

基調講演者：高麗大学 助教授 李 僖珍（イ・ヒジン） 氏

基調報告者：帝京大学文化財研究所教授 中山 誠二 氏

大阪市文化財協会 大庭 重信 氏

愛媛大学埋蔵文化財調査室特任准教授 三吉 秀充 氏

徳島大学大学院総合科学研究院教授 中村 豊 氏

関西大学非常勤講師 松田 順一郎 氏

株式会社パレオ・ラボ 辻 康男 氏

奈良県橿原考古学研究所 岡田 憲一 氏

韓国地質環境研究所所長 柳 春吉（リュ・チュンギル） 氏

コーディネーター：静岡大学人文社会科学部教授 篠原 和大 氏

人数：90 人



(3) 関連イベント「弥生土器で炊飯実験&古代米試食会」

日時：4月14日（日）、5月5日（日）

場所：登呂遺跡 メモリアル広場

費用：無料

人数：220人（4月14日70人、5月5日150人）



(4) 展示解説

日程：3月23日（土）、4月20日（土）、5月3日（金祝）

時間：10:30～、14:00～

会場：登呂博物館2階 特別・企画展示室

料金：無料（要観覧料）

人数：91人



広報・報道

- ・静岡市広報紙『静岡気分』3月号
- ・『すろーかる』3、4、5月号
- ・「リビング静岡」令和6年2月号
- ・JR静岡駅コンコースビジョン 3月
- ・週刊朝日MOOK『歴史道 第32号』
- ・静岡県文化振興財団『グランシップマガジン36号 37号』
- ・『日本歴史』2024年度前期
- ・月間トコチャン2月号・Webサイトへの登録
- ・静岡新聞
- ・朝日新聞

4-2 夏季企画展「しづおかタイムトラベル～縄文時代から奈良・平安時代をたどる～」

会期：令和6年6月8日(土)～9月1日(日)
『74日間』

概要：静岡市内の遺跡から発掘された出土品を紹介しながら、教科書で学ぶ歴史を静岡市に置き換えて掘り下げる。

観覧者：10,931人

一般 5,430人
高校生・大学生 477人
小学生・中学生 5,024人

点数：121点

資料協力：静岡県埋蔵文化財センター

静岡県立中央図書館歴史文化情報センター

掛川市教育委員会

個人

印刷物：(1) ポスター (B2、A3)

B2：330枚、A3：1,580枚

(2) チラシ (A4)

15,100枚

担当者：松原 草太



関連事業

(1) 講座①「発掘調査員が語る

～おおむかしの静岡に触れてみよう～」

日時：①令和6年7月6日（土）11：00～12：00

②令和6年7月20日（土）11：00～12：00

③令和6年8月3日（土）11：00～12：00

会場：登呂博物館交流ホール

概要：静岡市で発掘調査を担当している学芸員が、それぞれの時代の移り変わりについて話す。

講座の中で出土品に触れる。

講師：①埋蔵文化財係 黒澤 諒

（縄文時代から弥生時代）

② 埋蔵文化財係 毛利 舞香

（弥生時代から古墳時代）

③ 登呂博物館 松原 草太

（古墳時代から奈良・平安時代）

料金：無料

参加者：①25名 ②28名 ③49名 計 102名



(2) 講座②「こども学芸員養成講座

～遺物が展示物になるまで～」

詳細は「7 教育普及 7-4 子ども学芸員養成講座」にて報告



(3) 展示解説

日時：①令和6年6月16日（日）

②令和6年7月14日（日）

③令和6年8月11日（日）

時間：11：00～、14：00～

会場：登呂博物館 2階 特別・企画展示室

料金：無料（要観覧料）

人数：①57名 ②44名 ③38名 計 139名



広報・報道

- ・静岡市広報紙『静岡気分』 6月号
- ・『すろーかる』 6、7、8、9月号
- ・静岡鉄道駅貼りポスター 6/1～6/14、7/20～8/16
- ・静岡県文化振興財団『GRANSHIP マガジン 38号』
- ・『日本歴史』2024年度前期
- ・セントラルスクエアマガジンラック 7/18～8/21
- ・各webサイトへの登録 ・山梨日日新聞（7/13）
- ・静岡新聞・中日新聞・読売新聞 ・朝日新聞 など



4-3 秋季企画展「登呂遺跡を未来へつなぐ

～魅せる、登呂遺跡出土品の保存処理～

会期：令和6年9月28日（土）～12月15日（日）
※68日間

概要：登呂博物館は、数多くの資料を所蔵しており、資料の中には脆弱なものもあるため、よりよい状態で未来に継承していくために「保存処理」を行っている。保存処理を終えた重要な文化財登呂遺跡出土品やこれまで紹介する機会の少なかった収蔵庫の資料を公開することで、資料を「収集・保存」し、「保存処理」やときには「修理」することで登呂遺跡を未来へつなぐ博物館の取り組みを、保存処理の方法や技術とともに紹介した。

観覧者：6,646人

一般	4,476人
高校生・大学生	219人
小学生・中学生	1,951人

点数：231点

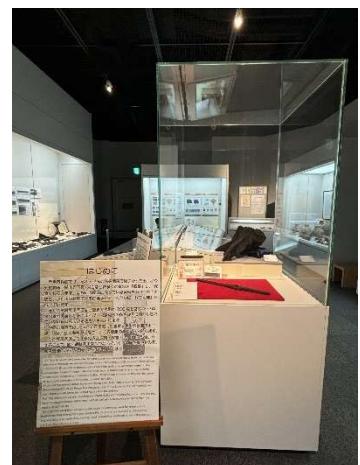
印刷物：(1) ポスター (B2、A3)

B2：330枚、A3：1,580枚

(2) チラシ (A4)

15,100枚

担当者：清水 千佳子



関連事業

(1) 関連講演会「文化財を未来へつなぐ～保存処理のいろは～」

概要：登呂遺跡出土品の保存処理を担当している静岡県埋蔵文化財センター職員の方に文化財の保存処理について講演いただいた。

日時：令和6年11月17日（日）

14:00～15:00

会場：登呂博物館1階 登呂交流ホール

講師：静岡県埋蔵文化財センター 大森 信宏氏

参加者：32人

(2) 展示解説

日程：10月12日（土）、11月10日（日）

時間：11:00～、14:00～

会場：登呂博物館2階 特別・企画展示室

料金：無料（要観覧料）

人数：33人

広報・報道

- ・静岡市広報紙『静岡気分』10月号、11月号
- ・『すろーかる』10、11、12月号
- ・『日本歴史』2024年度後期
- ・ドライブインフォメーション（9/14）
- ・あさラジ！@Morning（9/18）
- ・市政情報番組（11月下旬しづおかインフォメーション）
- ・静岡県文化振興財団『GRANSHIP マガジン38号』
- ・静岡鉄道駅貼りポスター10/5～10/25
- ・各webサイトへの登録 など



4-4 特別展「西の登呂、静岡に初上陸－大分県国東市安国寺集落遺跡と登呂遺跡－」

会期：令和7年1月25日（土）～令和7年4月6日（日）
『42日間』

概要：『西の登呂』こと国史跡安国寺集落遺跡（大分県国東市）

の出土品を初めて静岡・登呂博物館に迎え、2つの遺跡の出土品を通じて、弥生時代後期に沖積地で展開した稻作農耕集落の特徴や相違点を探るとともに、両遺跡の発掘にまつわる歴史や、史跡の整備・活用について紹介した。



観覧者：5,720人

一般	4,431人
高校生・大学生	425人
小学生・中学生	864人

点数：85点



協力：国東市教育委員会文化財課（国東市歴史体験学習館）

写真資料提供：大分県立埋蔵文化財センター

大分合同新聞社

名古屋市博物館

姫島村水産・観光商工課

福岡市埋蔵文化財センター



印刷物：（1）ポスター（B2、A3）

B2：330枚、A3：1,580枚

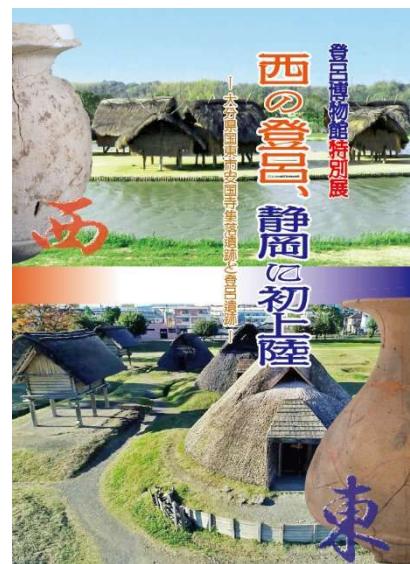
（2）チラシ（A4）

15,100枚

（3）図録（A4、42ページ）

600部

担当者：（主）渡邊 智大・（副）松原 草太



関連事業

(1) 関連講演会「『西の登呂』ってどんなところ？～安国寺集落遺跡の価値と活用の眼差し～」

概要：「安国寺集落遺跡」の特徴や価値について、別府大学下村名誉教授に解説いただき、史跡の整備に込められた意図や想いを国東市歴史体験学習館金田名誉館長に語っていただいた。その後、登呂博物館長も交え両遺跡の共通点や史跡整備の今後についてのトークセッションを行った。

日時：令和7年2月15日（土）14:00～16:10

会場：登呂博物館1階登呂交流ホール

基調講演者：別府大学名誉教授 下村智 氏

基調報告者：国東市歴史体験学習館名誉館長 金田信子 氏

鼎談者：登呂博物館長 岡村涉

人数：46人



(2) 関連イベント「出張！安国寺集落遺跡の鋳造体験」

日程：2月16日（日）

時間：10:00～、10:30～、11:00～、11:30～、13:00～、
13:30～、14:00～、14:30～（全8回、各回50分）

会場：登呂博物館1階登呂交流ホール、登呂遺跡学びのひろば

料金：600円

講師：国東市歴史体験学習館 吉本直正 氏

人数：22人

広報・報道

- ・静岡市広報紙『静岡気分』2月号
- ・『すろーかる』1、2、3月号
- ・静岡鉄道駅貼りポスター 2/1～2/28
- ・別冊歴史道12/6号・週刊朝日MOOK38号（3/6号）
- ・歴史人 12/6号（インフォメーション枠）
- ・静岡新聞 月刊トコチャン2月号
- ・静岡駅北口地下道横断幕 1/18～1/31
- ・JR静岡駅コンコースビジョン 2/1～2/28



4-5 特別展・企画展開催実績（リニューアル後） ※網掛けは特別展

年度	期	展覧会名	観覧者数
22	2010.10.3～12.5	ひらけ！弥生の扉 弥生人の脳に刻まれた記憶	16,413
	2010.12.18～2011.1.30	うつわ展	4,595
	2011.2.19～3.27	子どもたちの考古学 考古学はじめの一歩	5,817
23	2011.4.23～6.19	復元された古代建物 はじまりは登呂遺跡	18,937
	2011.7.9～9.4	登呂遺跡発掘物語 子どもたちに伝えよう登呂遺跡の価値	11,833
	2011.9.23～10.30	発掘された日本列島 2011	8,780
	2011.11.10～12.4	古代へのまなざし 芹沢鉢介が愛した縄文・弥生	4,006
	2011.12.17～2012.1.27	弥生ファッショショーン	3,766
	2012.2.11～3.20	赤い土器の世界 登呂式土器の赤彩を探る	4,070
24	2012.4.21～7.1	わがまちの遺跡展 登呂のとなりムラ鷹ノ道遺跡	13,877
	2012.7.14～9.23	登呂博物館開館 40周年記念展 登呂遺跡はじめて物語～40メモリーズ～	12,410
	2012.10.6～12.9	舟の力～古代人があこがれたノリモノ～	7,275
24-25	2013.1.12～6.30	米づくりの今昔～見て、触って、動かす農具～	29,972
25	2013.7.13～9.23	登呂のうた	8,881
	2013.10.5～12.8	特別史跡登呂遺跡発見 70周年記念 弥生の戦い～その時登呂ムラは!?～	5,925
25-26	2014.1.11～6.29	静岡の水田遺跡	23,787
26	2014.7.12～9.28	きっかけは登呂遺跡	9,392
	2014.10.11～12.7	縄文そして登呂～八ヶ岳山麓から駿河湾まで～	5,103
26-27	2015.1.17～6.21	祭礼のかたち	20,582
27	2015.7.11～9.23	豊かな水源に生きる	8,767
	2015.10.10～12.7	登呂のいす展	4,261
27-28	2016.1.16～5.29	登呂の食事情	21,211
28	2016.6.18～9.4	重要文化財登呂遺跡出土遺物展	8,983
	2016.9.17～12.4	弥生×登呂	6,949
	2017.1.7～3.5	静岡考古展	4,520
28-29	2017.3.18～6.4	石の刃物 鉄の刃物	13,559
29	2017.6.24～9.3	登呂発掘と静岡市の近現代	8,747
	2017.9.30～11.26	東海土器五十三次展	4,748
	2018.1.6～3.4	こだいの「ふふっ」展	5,011

年度	会期	展覧会名	観覧者数
29-30	2018.3.21~6.10	ウトウ・トロ・タカノミチ	14,025
30	2018.6.30~9.9	富士山がみえる	7,008
	2018.9.29~12.16	平成×登呂	5,155
	2019.1.12~3.3	登呂をとめ 安倍をとこ	3,121
30-31	2019.3.23~6.16	石をつかった、土器をつくった。-静岡市の旧石器・縄文時代-	15,276
1	2019.7.13~9.8	FIRE	6,697
	2019.10.5~12.1	芹沢鉢介と考古(学)	4,139
	2020.1.11~3.1	古墳のきらめき -賤機山古墳展-	3,650
1-2	2020.3.20~6.14	お米づくり、はじめました。-静岡市の弥生時代-	1,482
2	2020.7.3~9.13	実測	6,695
	2020.10.3~11.29	水とともに生きる	5,812
	2021.1.9~2.28	「ちっちゃ」展	2,885
2-3	2021.3.20~6.13	前方後円墳がやってきた	9,129
3	2021.7.3~9.12	ひょっこり有度山展	5,456
	2021.10.2~11.28	WOOD-木を活かす弥生人-	6,443
	2022.1.8~2.27	真っ直ぐな刀展	2,974
3-4	2022.3.19~6.12	誕生スルガノクニ-静岡市の奈良・平安時代-	11,640
4	2022.7.9~8.28	登呂博今昔ものがたり	6,746
	2022.9.17~11.6	祀りとまつり展	4,860
	2022.12.3~2023.1.29	コメ作りの考古学と民俗学	3,452
4-5	2023.2.25~5.21	静岡に眠る弥生時代の開拓者	9,016
5	2023.6.17~8.27	登呂遺跡で考える SDGs	10,423
	2023.9.23~11.19	アンダー・ザ・駿府城	5,064
	2023.12.9~2024.2.4	登呂遺跡と海	3,293
	2024.2.23~5.12	古代の稻作と実験考古学	7,957
6	2024.6.8~9.1	しづおかタイムトラベル ~縄文時代から奈良・平安時代をたどる~	10,931
	2024.9.28~12.15	登呂遺跡を未来へつなぐ~魅せる、登呂遺跡出土品の保存 処理	6,646
	2025.1.25~4.6	西の登呂、静岡に初上陸~大分県国東市安国寺集落遺跡と 登呂遺跡~	5,720

4-6 通常展示

(1) 常設展示室（博物館2階）

概要：登呂遺跡にあった集落（ムラ）の生活を紹介する展示室。

平成11年から15年にかけて行われた登呂遺跡再発掘調査の成果を示しながら、ムラを再現したジオラマや映像媒体などを使った、直感的な展示を行っている。日本考古学史上大きな役割を果たした登呂遺跡の発掘調査について、当時発掘にかかわった人々へのインタビュー映像や新聞記事などの資料で分かりやすく伝えている。また、平成28年に国の重要文化財に指定された出土品も数多く展示されている。

資料：重要文化財登呂遺跡出土品など

点数：約350点



(2) 弥生体験展示室（博物館1階）

概要：登呂博物館の特徴の一つである「体験学習」を行うための展示室。弥生時代の登呂ムラを再現している。壁に描かれた風景と、復元された建物・道具によって、登呂ムラの様子が復元されている。貫頭衣試着体験や、弥生時代の米づくりの体験が可能なスペースとし、当時使われていた様々な道具を実際に手に取り使用できる。

室内には、体験指導員や博物館ボランティアが常駐し、来館者の体験補助と説明を行っている。博物館1階は無料で体験できる。



4-7 資料貸出（出土品等）

(1) 貸出先：あいち朝日遺跡ミュージアム

展示名：「弥生人といきもの 2024 鳥に願いを」

期間：令和6年7月8日（月）～9月20日（金）

※展示期間：7月20日（土）～9月16日（月祝）

対象：重要文化財 不明木製品（鳥形） 1点

不明木製品（鳥形）のレプリカ 1点



(2) 貸出先：東京国立近代美術館

展示名：「ハニワと土偶の近代」

期間：令和6年9月7日（土）～令和7年1月16日（木）

※展示期間：令和6年10月1日（火）～12月22日（日）

対象：中村直人『草薙剣』木像 1点



5 保存

5-1 修理事業

(1) 登呂遺跡出土品

登呂遺跡は昭和18年に発見された弥生時代後期の集落跡及びそれに隣接する水田跡を中心とした遺跡。戦後の昭和22年から25年にかけては、各大学の連携による学際的で大規模な調査が行われた。その調査は学史的にも有名なものである。

出土品は、土器と木製品が中心で、これらが「弥生時代の生業や集落の実態を初めて学界に示した遺跡からの出土品で、戦前から戦後にかけての日本考古学の研究史を語るうえで欠かせない資料」として、775点が平成28年に重要文化財に指定された。

(2) 修理概要

出土品は保存処理が行われておらず脆弱な状態のものが多いため、平成30年度から保存修理事業を開始した。まずは14年間をかけて木製品を中心とした458点の修理を行う。

修理は、出土品にとって優しく必要最低限なもので、可逆的な方法で実施する。

所有者：静岡市（実施：静岡市教育委員会）

期間：平成30年度～令和13年度

費用：文化庁補助金(1/2)、静岡市(1/2)

対象：458点

(3) 基本的な修理方法

ア 記録

将来的な再処理も見据えて、事前の記録、処理工程・使用薬剤の記録、事後の記録などを確実にとる。

イ クリーニング

資料に損傷を与えない方法で表面に付着する汚れを除去する。

ウ 安定化処理・修復

基本的に樹脂を含侵させて、資料を強化する。ただし、素材やその状態に応じて処理内容を検討する。

亀裂があるものや折れているものは、樹脂含侵に加えて損傷部の補填・接合を行う。

エ 保存

一部の脆弱な資料について、保存台を作成する。

(4) 令和6年度実績

数量：21点

修理：静岡県埋蔵文化財センター

運搬：日本通運株式会社静岡支店

指導監督：文化庁文化財第一課

経費：3,150,973円

5-2 寄贈

令和6年度は実績なし

6 活用（各種イベント含む）

6-1 主催事業

（1）登呂遺跡復元水田活用事業（団体水田）

概要：遺跡内にある復元水田を市民団体・学校団体等に貸し出し、赤米などの稻作を行う。弥生時代の景観を復元・維持し、水田での活動を体験する場所を提供する。

期間：令和6年4月～令和6年12月

会場：復元水田

料金：無料

参加者：23団体



（2）市民水田「登呂遺跡の田んぼで赤米づくり体験」

概要：個人を対象に小区画水田を貸し出し、田起こしから赤米の田植え・脱穀・糲摺りまでの稻作体験を行う。

期間：令和6年4月～令和6年12月

会場：復元水田

料金：500円

参加者：36組（40区画）



（3）田植え体験

概要：復元水田に赤米の苗を植える。また、水田で田下駄を履く体験も同時に行う。

日時：令和6年5月19日(日)、26日(日)、6月2日(日)、9日(日)、16日(日)の5日間

会場：復元水田

料金：無料

人数：391人



（4）登呂の田んぼで生物観察

概要：復元された登呂遺跡で生物観察を行う。

日時：令和6年7月13日(土)10:00～12:30

会場：登呂博物館1階 登呂交流ホール、登呂遺跡

協力：常葉大学教育学部 久留戸教授、同研究室学生12人

静岡市環境学習指導員 守屋氏

料金：無料

人数：12人（定員12人）



(5) とろムラ体験フェスティバル

概要：夏休みの来館者を対象に、火起こし、丸木舟乗船、弓矢等の体験やイベントを行う。

日時：令和6年8月4日（日）

10:00～15:30

会場：登呂博物館、登呂遺跡

料金：無料

人数：計785人



(6) ドロン子パーク

概要：より小さな子どもたちに、登呂遺跡の水田に親しみをもってもらえるようにする。

期間：令和6年8月3日（土）、4日（日）、10日（土）、11日（日）、12日（月祝）、17日（土）、18日（日）、24日（土）、25日（日）の9日間

会場：登呂遺跡内復元水田

料金：無料

参加者：165人



(7) みごほうきづくり体験

概要：収穫した稲藁を再利用し、「みごほうき」をつくる。併せて、登呂遺跡での稻作や登呂ムラで行われた「再利用」についても紹介する。

日時：令和6年9月14日（土）10:00～11:30

会場：登呂博物館1階 登呂交流ホール

料金：100円

人数：10人



(8) 祭殿見学会

概要：祭殿の扉を開放し、梯子を使って祭殿内をのぞき込む。

中には複製の祭祀具等を配置し、まつりの様子を感じることができるようにした。また、貫頭衣や装飾品を着用できる体験も行う。

日時：令和6年10月5日（土）10:00～15:00

会場：登呂遺跡 復元祭殿前

協力：前登呂博物館協議会委員 伊熊 修 氏

料金：無料

人数：祭殿見学会：251人

貫頭衣体験：33人



(9) 赤米収穫体験～稲刈り～

概要：石包丁を使った稲刈り（穂摘み）と簡易的な脱穀・
穀摺りを体験する。

日時：令和6年10月6日（日）、13日（日）、14日（月）、
20日（日）、27日（日）の5日間

会場：復元水田

料金：100円

人数：519人



(10) 赤米収穫体験～石器づくり～

概要：様々な形の石を研いで石器をつくる。

日時：令和6年10月6日（日）、13日（日）、14日（月）、
20日（日）、27日（日）の5日間

会場：登呂遺跡 祭殿下

料金：200円

人数：158人



(11) 登呂遺跡探検ツアー

概要：スルガフェスの体験ブースの一つとして出店した。

日時：令和6年10月14日（月祝）10:00～15:00

会場：登呂遺跡、登呂博物館

参加者：197人



(12) ハッピートロワイン

概要：登呂遺跡東側住居の西側で藁トンネルづくり、

貫頭衣づくりを実施した。

※はぴまま×登呂遺跡「はぴままトロワイン」を同時
開催

日時：令和7年10月19日（土） 10:00～15:00

10月20日（日） 10:00～15:00

会場：登呂遺跡東側住居付近

参加者：5,142人（博物館入館者数）



(13) 木工体験「箱作りの琴をつくって奏でよう」

概要：登呂遺跡で出土した箱作りの琴を木工で作り、板作り
と箱作りでの音の違いを比べる体験を行った。

日時：令和6年11月24日（日）10:00～15:00

会場：登呂博物館1階 登呂交流ホール、体験サポート室

料金：1,000円

参加者：7人



(14) しめ縄づくり体験「お正月は手作りのしめ縄で」

概要：復元水田で収穫した稲の藁でしめ縄を作る。

日時：令和6年12月21日（土）9:30～12:30

会場：登呂博物館1階 登呂交流ホール

講師：登呂博物館ボランティア

料金：300円

人数：47組100人



(15) お年玉プレゼント

概要：常設展観覧者に対し、登呂遺跡復元水田で収穫した

稻穂を小袋に入れたものを配布する。

日程：令和7年1月4日（土）、5日（日）

場所：登呂博物館2階 常設展示室前

料金：無料（要観覧料）

数量：300個



(16) どんど焼き

概要：しめ縄づくり体験で作成したしめ縄を焚き上げ、

豊穣を祈願する。

日時：令和7年1月12日（日）11:00～11:30

場所：登呂遺跡

料金：無料

人数：60人



(17) 弥生土器づくり体験

概要：土器についての知識を学び、土器の成型から野焼きま

でを行う。

日時：令和7年2月8日（土）、3月8日（土）

会場：登呂博物館1階交流ホール、登呂遺跡

料金：100円

人数：31組



(18) 機織り機でミサンガ作り

概要：体験用ミニ機織り機でミサンガを作る。

日時：令和7年2月16日（日）10:00～15:00

会場：登呂博物館1階交流ホール

料金：無料

人数：21人



6-2 共催・連携事業

(1) 登呂人の田下駄を作ろう

概要：田下駄の作成を体験し、成果物を水田に見立てたマットの上で履く体験を行った。

日程：令和6年8月23日（金）10:00～12:00

会場：登呂博物館、登呂遺跡体験サポート室

人数：8人

連携先：南部生涯学習センター



(2) 静岡市文化財展

概要：前年度に静岡市内から出土した資料などを展示。

会期：令和6年9月14日（土）～10月14日（月）

会場：登呂博物館1階 情報・映像コーナー

観覧者数：421人（アンケート回答数）

連携先：静岡市文化財課



(3) 駿河トロベーWeek2024

概要：駿河区役所周辺の企業・施設・団体が一体となり、各所で様々なイベントが繰り広げる。

日時：令和6年10月5日（土）～14日（月祝）

会場：駿河区役所、登呂博物館・登呂遺跡ほか

連携先：駿河区地域総務課



(4) 第62回登呂まつり

概要：登呂遺跡の歴史文化を紹介し、地域の活性化を図るためのおまつり。

日時：令和6年10月5日（土）、6日（日）

会場：登呂遺跡

連携先：登呂まつり実行委員会



(5) 常葉大学連携事業

参加型紙芝居「追え！！ 登呂ムラを」

概要：常葉大学の学生が登呂ムラに関する参加型紙芝居を上演した。

日時：令和6年10月5日（土）

会場：登呂博物館1階交流ホール

人数：102人



(6) スルガフェス

概要：秋をテーマとして、駿河区の自慢の”食”と楽しい
“ワークショップ・アクティビティ”が集結。

日時：令和6年10月14日（月祝）10:00～15:00

会場：登呂遺跡、登呂博物館

来場者数：約11,000人

連携先：駿河区地域総務課



(7) 登呂博物館 ナイトミュージアム

概要：トロベールWeekの連携事業として、博物館の夜間特別

会館に加え、遺跡のライトアップ等を行った。

日時：ライトアップ

令和6年10月5日（土）、6日（日）、12日（土）

夜間開館

令和6年10月12日（土）18:00～20:00

会場：登呂遺跡・登呂博物館

人数：133人（博物館入館者数）

連携先：芹沢鉢介美術館



(8) はぴまま×登呂遺跡 はぴままトロワイン

概要：子育て支援団体「はぴまましづおか」による飲食・
物販・体験イベント「はぴままトロワイン」を共催
開催した。

日程：令和6年10月19日（土）、20日（日）

10:00～15:00

会場：登呂遺跡・登呂博物館

人数：5,142人（博物館入館者数）

連携先：はぴまましづおか



(9) 石包丁で登呂米を収穫してみよう

概要：石包丁の作成体験と作成した石包丁での収穫体験を共
催開催した。

日程：令和6年11月2日（土）

10:00～12:00

会場：登呂遺跡・登呂博物館

人数：11人

連携先：南部生涯学習センター



(10) 城南静岡高校地域貢献部×登呂博物館

「ちいきのみかた café」

概要：城南静岡高校地域貢献部が商品開発した「赤米バーガー」と「赤米団子」を販売した。どちらの商品にも登呂遺跡復元水田で地域貢献部は栽培・収穫した赤米が使用されている。

日程：令和7年1月25日(土)から令和7年3月15日(土)

までの3月1日(土)を除く各土曜日

11:00～14:00

会場：登呂遺跡 学びの広場

連携先：城南静岡高等学校・中学校 地域貢献部



(11) 登呂遺跡 親子星空観望会

概要：登呂博物館で星・宇宙の教室や望遠鏡の操作体験などを行った。(曇天のため、登呂遺跡での星空観望会は中止し、博物館内での体験に変更した。)

日程：令和7年3月29日(土)

18:20～21:00

会場：登呂遺跡・登呂博物館

人数：77人(博物館入館者数)

連携先：やいづ星人の集い



6-3 その他事業

(1) 登呂遺跡再発掘調査25周年記念イベント(懇談会)

目的：登呂遺跡再発掘調査開始(平成11年)から今年で25年を迎えた。再発掘調査開始25周年を記念するとともに、当時の登呂遺跡再発掘調査の状況を知らない博物館職員に、当時の状況を知る良い機会であると当該事業を計画した。再発掘調査に参加した人々に声をかけ、博物館職員との懇談会を通じ、疑問に思っていた当時の調査状況等を理解し、来館者への説明に活かせるようにした。

日時：令和6年11月3日(日) 11時から

場所：静岡市立登呂博物館 1階 交流ホール

内容：1. 開催のあいさつ

2. 参加者紹介

3. 登呂遺跡再発掘調査の概要

4. 特別展鑑賞

5. 懇談会(再発掘調査の思い出)

6. 閉会のあいさつ

参加者：発掘参加者6人 博物館職員2人、文化財課職員2人

平成11～15年度までの調査参加者42人に開催案内を送付したが、急遽だったことと住所変更等で連絡が取れない、さらに高齢化によって参加自体が難しいなどの理由で、実際に参加できた調査参加者は6人と非

常に少なかった。しかし、参加者の近況がつかめたことで、今後博物館での展示やイベントへの協力意思が確認できたこと、次回早く案内があれば語り部として参加したいとの回答が何人かから寄せられた。



懇談会の様子



提供を受けた平成 12 年度発掘調査記念写真

7 教育普及

7-1 学校見学（ガイダンス、案内等）

小学校 141 校

中学校 13 校

7-2 講師派遣・出張講座

（1）市政出前講座

「静岡市の宝・登呂遺跡～充分（重文）知ってる？その魅力～」

概要：静岡を代表する遺跡である登呂遺跡について解説する。

- ・静岡市立南部小学校

日時：令和6年5月21日（火） 13時40分～15時20分

講師：登呂博物館学芸員 松原 草太、渡邊 智大

人数：63人

- ・静岡市立大里西小学校

日時：令和6年5月31日（金） 9時45分～11時30分

講師：登呂博物館学芸員 清水 千佳子、渡邊 智大

人数：133人

- ・静岡市立清水高部東小学校

日時：令和6年7月9日（火） 9時00分～12時15分

講師：登呂博物館学芸員 松原 草太、渡邊 智大

人数：95人

- ・健康文化交流館来・て・こ

（高齢者学級みのり大学小鹿学級）

日時：令和6年7月23日（火） 13時15分～15時00分

講師：登呂博物館学芸員 松原 草太

人数：34人

- ・高齢者学級みのり大学（麻機学級）

日時：令和6年11月28日（木） 13時30分～15時00分

講師：登呂博物館学芸員 松原 草太

人数：34人

- ・高齢者学級みのり大学（中吉田学級）

日時：令和6年12月11日（水） 13時30分～15時00分

講師：登呂博物館学芸員 松原 草太

人数：20人

- ・高齢者学級みのり大学（長田南学級）

日時：令和6年12月19日（木） 13時30分～15時00分

講師：登呂博物館学芸員 松原 草太

人数：20人



(2) サイエンスピクニック

概要：静岡科学館る・く・るが主催する自然科学分野の団体が集まるイベントにブースを出展した。題名を「弥生の～おと」と称し、弥生時代の楽器についてパネルで紹介し、土笛の作成体験を実施した。

日時：令和7年3月8日（土）12:00～16:00

会場：静岡科学館 る・く・る

講師：登呂博物館職員 清水 千佳子

登呂博物館体験指導員 卷田 直紀

参加者：53人



7-3 博物館実習・職場体験等

(1) 博物館実習

概要：学生を受け入れ、学芸員資格取得のために必要な博物館実習を実施した。

期間：令和6年8月1日（木）～8日（木）**（7日間）**

人数：10人（定員10人）

（内訳）都留文科大学1 滋賀県立大学1 龍谷大学1 日本女子大学1 立教大学1
静岡大学2 日本大学1 北海道大学1 韓国伝統文化大学1

内容：1日目 概要説明、館内見学、教育普及案発表

2日目 収蔵庫見学、教育普及事業打合せ、保存処理施設見学

3日目 教育普及事業補助

4日目 教育普及事業補助

5日目 芹沢鉢介美術館見学、資料取扱実習、展示計画

6日目 写真撮影実習、展示準備

7日目 展示準備、展示・発表

(2) 職場体験

中学生の職場体験について、各校おおむね3日程度、一校あたり最大3人で受け入れた。弥生体験展示室での体験補助、屋外体験の補助、登呂遺跡で発見したことの展示ボード作成などの業務を行った。

番号	期間	学校	学年	人数
1	令和6年5月22日（水）～24日（金）	静岡市立高松中学校	2	2
2	令和6年5月28日（火）～30日（木）	静岡市立大里中学校	2	3
3	令和6年11月12日（火）～14日（木）	静岡県立清水南高等学校中等部	1	2

7-4 こども学芸員養成講座～遺物が展示物になるまで～

概要：考古学系の学芸員の仕事（発掘・測量・調査研究・展示）
を体験する。

日時：令和6年7月6日（土）、7月20日（土）、8月3日（土）
13:00～15:00

会場：登呂博物館1階 登呂交流ホール、登呂遺跡

料金：無料

人数：計6人（小学4年生～中学3年生）



7-5 観察等受入

番号	受入日	団体	目的
1	令和6年7月17日（水）	伊豆の国市	施設見学
2	令和6年10月25日（金）	モンゴル国・ドルノゴビ県高校生訪問団	施設見学

8 - 1 広報印刷物

(1) 登呂遺跡・登呂博物館パンフレット (四つ折り)

登呂遺跡及び登呂博物館の概要を紹介。英語版、簡体字版、繁体字版、韓国語版も用意。



(2) 登呂遺跡イラストマップ (A4)

わかりやすいイラストで登呂遺跡を紹介。



(3) 年間スケジュール (A3)

部数：15,000 部

備考：裏面には芹沢銈介美術館の年間スケジュールを掲載。



(4) その他

各種教育普及事業のチラシを適宜作成し、館内に配架したほか、市内小中学校や公共施設、近隣の町内会等に発送。

8-2 ウェブサイト・SNS

(1) 登呂博物館ホームページ

令和2年1月から新しいホームページを公開している。登呂博物館及び登呂遺跡の概要や利用案内、アクセス方法等のほか、各企画展やイベントの情報、お知らせ等を配信する。(https://www.shizuoka-toromuseum.jp)



(2) こどもトロベーパーク

令和2年3月から登呂遺跡の概要を小学生にもわかりやすく説明するウェブサイト「こどもトロベーパーク」を公開している。(https://www.shizuoka-toromuseum.jp/torobepark-info/)



(3) 登呂博物館X (旧 Twitter)

令和元年10月1日から登呂博物館の公式X(旧Twitter)アカウントを開設し、登呂博物館で行われる企画展やイベントに関する最新情報のほか、登呂遺跡の日常風景等を主に写真付きで配信している。(https://x.com/torohaku_torobe)



《報道》

(1) テレビ・ラジオ

- ・区役所内広告付き窓口案内表示にて企画展やイベント情報を放映
- ・静岡朝日テレビ『とびっきり！しづおか 土曜版』お天気コーナー
- ・テレビ静岡『ただいま！テレビ』「静岡裏表さんぽ」
- ・静岡第一テレビ『まるごと』「コットン CLUB」

(2) 新聞

- ・静岡新聞 4/9 「古代の稻作や農具紹介」(登呂博物館 復元水田の研究成果展)
- ・静岡新聞 4/24 「弥生人の工夫と努力に感動」
- ・静岡新聞 5/11 「赤米おはぎ『夢かなえた』」(城南静岡中・高生が材料生産 商品開発)
- ・静岡新聞 5/12 「日本人の祖先3系統か 縄文・関西・東北」(理研など「縄文と弥生」仮説に疑問)
- ・読売新聞 6/2 「弥生の稻作文化 証明の地」(科学的歴史研究への転機)
- ・静岡新聞 6/30 「『こども学芸員』講座参加者募集 登呂博物館」
- ・静岡新聞 7/6 「『縄文から平安まで』静岡市内をタイムトラベル」(出土の土器、石器や木簡121点 登呂博物館で企画展)
- ・静岡新聞 7/14 「田んぼでアメンボ捕まえた！」(児童ら生物観察会 駿河区・登呂遺跡)
- ・日本経済新聞 7/22 「宮島の困窮 救ったしゃもじ」(日清・日露戦争で全国に拡大)
- ・静岡新聞 7/24 「ミニ学芸員 土器復元『難しい』」(駿河区・登呂博物館で講座)
- ・静岡新聞 8/7 「土器の梱包作業に挑戦」(学芸員目指し学生ら実習 登呂博物館)
- ・朝日新聞 8/10 「しづおかタイムトラベル～縄文時代から奈良・平安時代をたどる～」(周遊ガイド)
- ・静岡新聞 9/21 「登呂遺跡にある四季の風景」
- ・静岡新聞 10/6 「古代のおむすびに火おこし… 弥生時代の暮らし体験」(きょうまで「登呂まつり」)
- ・静岡新聞 10/13 「登呂遺跡 幻想的にライトアップ」(博物館 夜間特別開館も)
- ・静岡新聞 12/10 「秋の影」(読者のひろば)
- ・静岡新聞 12/22 「登呂遺跡の赤米 日本酒に」(初の試作品完成 静岡大×島田・大村屋酒造場)
- ・静岡新聞 3/24 「登呂遺跡が特別史跡に」(昭和100年静岡の記憶 1952(昭和27)年3月29日)
- ・静岡新聞 3/25 「有東遺跡の土器、石器 文化財に 静岡市」(伊勢湾地方とのつながり評価)

《広告》

(1) 有料広告

- ・JR 東海静岡駅コンコースビジョン
- ・静鉄駅ポスター掲出 (新静岡、新清水等 計16駅)
- ・るるぶこどもとあそぼ！首都圏'25
- ・歴史人 1月号
- ・歴史道 第38号・歴史道別冊 Special
- ・まっふる大人も楽しめるこどもとおでかけ'26 関東周辺

- ・道の駅首都高るるぶ 12月～2月
- ・セントラルスクエアマガジンラック
- ・山梨日日新聞 7/13 「静岡夏のレジャーガイド」
- ・わお！ハイウェイマップ 静岡県静岡市エリア
- ・静大祭広告掲示

(2) 無料広告・掲載（主なもの）

- ・『GRANSHIP マガジン』（静岡県文化財団）
- ・『すろ～かる』（すろーらいふ）
- ・「広報しづおか 静岡気分」（静岡市広報課）
- ・『@エス』（静岡新聞 SBS）
- ・『日本歴史』（日本歴史学会）
- ・『ミュージアム通信』（特定非営利活動法人キッズアートプロジェクトしづおか）
- ・フリーペーパー KAKEHASHI（ナガハシ印刷）
- ・「タウン新聞しづおか」『リビング静岡』（静岡リビング新聞社）
- ・『静岡駅周辺のご案内』（ゼンリン）
- ・まっふる静岡'25（昭文社）
- ・るるぶ情報版『るるぶ静岡 清水浜名湖富士山麓伊豆'24』（JTB パブリッシング）
- ・「博物館研究」（日本博物館協会）
- ・「文化財発掘出土情報」
- ・地球の歩き方 J 25 静岡（株式会社学研）
- ・月刊トコチャン
- ・静岡駅地下道ショーケース（静岡市文化振興財団）
- ・文化遺産ラボ（株式会社うちなーうえぶ）

(3) 無料ウェブサイト・その他（主なもの）

- ・静岡市ホームページ、静岡市 Facebook、静岡市 X、文化財課 Instagram
- ・Dokka
- ・「IM」（インターネットミュージアム）
- ・MUSCA 全国のミュージアム・カレンダー
- ・「まなぼっと」（静岡県総合教育センター）
- ・「しづはく.net」（静岡県博物館協会）
- ・日本博物館協会ホームページ
- ・日本考古学協会ホームページ
- ・「@ S（アットエス）」（静岡新聞 SBS）
- ・キッズアートプロジェクトしづおか HP
- ・るるぶ Web（JTB パブリッシング）
- ・WEB サイト『We Love 静岡』
- ・Design November

8-4 トロベー

平成 22 年の登呂博物館リニューアルに向けて、デザイン及び愛称を公募して平成 21 年に誕生した登呂遺跡・登呂博物館イメージキャラクター。平成 29 年 1 月に駿河区応援隊長にも就任し、登呂遺跡・登呂博物館だけでなく静岡市駿河区全体の PR 活動を行っている。



名前：トロベー

由来：登呂遺跡の「トロ」とおコメ（米）の「ベイ」から

肩書：登呂遺跡・登呂博物館イメージキャラクター兼駿河区応援隊長

活動：博物館内における来館者とのふれあいの他、広報媒体や各種イベントに掲載・出演し、登呂遺跡・登呂博物館を宣伝している。

活用：平成 25 年度から静岡大学登呂博物館ボランティア「STV」がトロベーを活用する活動を開始。

平成 29 年 1 月 24 日には「駿河区応援隊長」に任命され、駿河区地域総務課が主体となり、駿河区のイメージキャラクターとしても活動している。

平成 30 年度には静岡市内にある城南静岡高校（駿河区南八幡町）の「地域貢献部」が、トロベー出演を含むボランティア活動を始めた。

活用状況（駿河区地域総務課が窓口となったものは含まない。）

番号	出演日	出演イベント	出演場所
1	令和 6 年 10 月 5 日	第 62 回登呂まつり	登呂博物館、登呂遺跡



登呂博物館協議会

博物館法第20条第1項及び静岡市博物館条例第11条第1項の規定に基づき、登呂博物館に「静岡市立登呂博物館協議会」を置いている。なお、博物館協議会は博物館法第20条第2項において「博物館の運営に関し館長の諮問に応ずるとともに、館長に対して意見を述べる機関」と定められている。

(1) 委員名簿 (◎会長)

ア 任期 令和5年8月1日から令和7年7月31日まで (令和7年3月31日時点)

選出区分	氏名	職業・役職
市民	藤田 友子	市民公募委員
市民	鈴木 杏佳	市民公募委員
社会教育関係者	前田 晃宏	公益財団法人静岡市文化振興財団 職員
家庭教育関係者	木村 貴子	元市PTA理事・監査、前静岡市立高松中学校PTA会長
学識経験者	田宮 縁	静岡大学学術院 教育学領域 発達教育学専攻 幼児教育専修 教授
学校教育関係者	野田 修	静岡市立清水第二中学校長
学校教育関係者	鈴木 健介	静岡市立南部小学校長
◎学識経験者	堀切 正人	常葉大学教育学部教授 常葉美術館館長
学識経験者	丸山 真史	東海大学 人文学部 准教授
社会教育関係者	池田 水穂子	里山くらしLABO 代表、はぴまましづおか

※ 敬省略

(2) 令和6年度協議会開催実績

ア 第1回

日時：令和6年7月25日（木）10:00～12:00

会場：登呂博物館1階 登呂交流ホール

出席者：7人

傍聴者：0人

内容：(1) 令和5年度の事業報告

(2) 令和6年度の事業について

(3) 議題「令和5年度までの協議題と現状」

イ 第2回

日時：令和7年3月6日（木）10：00～12：00

会場：登呂博物館1階 登呂交流ホール

出席者：9人

傍聴者：0人

内容：（1）令和6年度の事業報告

（2）令和7年度の事業予定

（3）市文化財関係課組織改編及び教育委員会補助執行の終了について

（4）日韓交流事業について

（5）議題「令和5年度までの協議題と現状②」

10 ボランティア活動

博物館ボランティア

平成7年の活動開始以来、団体見学者の引率、体験展示室での説明補助、イベント補助などの活動を行ってきている。原則、毎月一回、博物館職員を交えた「ボランティア連絡会議」を開催している。

(1) 活動内容 () 内はボランティアの参加者数

月	会合	研修等			講座・イベント支援
		展示解説	米づくり	その他	
4月	会議 (18)				
5月	会議 (19)				田植え体験 (7)
6月	会議 (16)	夏季企画展「しづおかタイムトラベル」(16)	代搔き・ 田植え (5)		田植え体験(10)
7月	会議 (16)				
8月	—				とろムラ体験フェスティバル (19)
9月	会議 (20)	秋季企画展「登呂遺跡を未来へつなぐ」(15)			みごほうきづくり (8)
10月	会議 (15)		稲刈り (7)		赤米収穫体験 (12)
11月	—		脱穀・もみすり (3)		木工体験 (1)
12月	会議 (18)			あいち朝日遺跡ミュージアム (27)	しめ縄づくり (13)
1月	会議 (15)				どんど焼き (10)
2月	—	特別展「西の登呂、静岡に初上陸」(9)			土器づくり体験 (7)
3月	会議 (13)				

(2) 登録者数：45人（令和6年4月1日時点。前年同時期46人）

(3) 平均活動人数：1日平均5.4人（前年度比1.5人減）

(4) 新規ボランティア募集状況

ア 応募人数：5人

イ 募集期間：令和6年7月2日～12月25日

ウ 事前研修：下記研修日程表のとおり（応募者との日程調整の上、個別に対応）

	内容	時間
第1回	・ガイダンス（ボランティア体制、館概要、接遇） ・1階体験展示室の説明	1時間程度
第2回	・2階常設展示室の説明 ・登呂遺跡解説	1時間30分程度
可能者のみ	・ボランティア連絡会議へ出席（顔合わせ）	30分程度

11 利用案内

(1) 開館時間

9:00～16:30（博物館）、遺跡は24時間オープン

(2) 休館日

月曜日（休日の場合は開館）、休日の翌日、12月26日～1月3日 ※臨時開館・閉館する場合あり

(3) 観覧料（通常期：令和4年4月1日時点）※博物館1階は無料でご利用いただけます。

区分	一回	団体※1	回数券※2	共通券※3	団体共通券※1,3
一般	300円	220円	1,400円	580円	460円
高校生・大学生	200円	150円	930円	360円	280円
小学生・中学生	50円	40円	230円	120円	90円

※1 「団体」は有料観覧者30名以上の団体

※2 「回数券」は5枚綴り

※3 「共通券」は登呂博物館に隣接する静岡市立芹沢銈介美術館との共通観覧券

ただし、以下の者は観覧料を無料とします。

- ア 静岡市内に居住する70歳以上の者
- イ 静岡市内に居住し、又は通学する小学校の児童及び中学校の生徒（これらに準ずる者）
- ウ 未就学児

また、学校団体の見学、身体障害者手帳等の交付を受けた方とその同伴者1名など、観覧料の免除となる場合があります。詳細は登呂博物館にご確認ください。

(4) アクセス

- ア バス JR静岡駅南口から10分 しづてつジャストライン石田街道線「登呂遺跡」行き終点下車
- イ 自動車 (ア) 東名高速道路 静岡ICから10分
(イ) 東名高速道路 日本平久能山スマートICから10分
- ウ 駐車場 博物館南側（東名高速道路側道北側）に有料駐車場あり（普通車一回400円）

(5) 音声ガイド

常設展示室及び復元建物に音声ガイドを整備しています。専用のスマートフォンで利用できます。

- ア システム 「pitatto」（ノムラテクノ株式会社）
- イ 言語 日本語、英語、中国語（文字は簡体字）、韓国語
- ウ 設置個所 15（博物館内11、復元建物4）
- エ 利用方法 専用のスマートフォンを博物館内で貸し出しています。
- オ 導入日 平成30年4月24日

静岡市立登呂博物館 館報 第31号 令和6年度

発行日：令和7年6月30日

編集発行：静岡市立登呂博物館

〒422-8033 静岡市駿河区登呂五丁目10番5号

TEL 054-285-0476 FAX 054-287-1466

torohaku@city.shizuoka.lg.jp <https://www.shizuoka-toromuseum.jp>